

# サービス科学・工学研究の推進

実施期間:5年間  
実施規模:年間5億円(2,500万円×20件)

参考資料 2  
サービス科学・工学の  
推進に関する検討会  
(第2回)  
H20.9.1

## 施策の必要性

- 「サービス」は、経済活動において大きな比重を占めるなど、国際競争力の観点から一層重要となる分野
- しかし、「サービス」の最適化・高度化等は経験や勘に頼るのが一般的で、抜本的な対応策を講じることが困難



経験的手法のみならず、サービスを体系化し、高度化へ結びつける、科学・工学的手法が必要

## 施策の内容

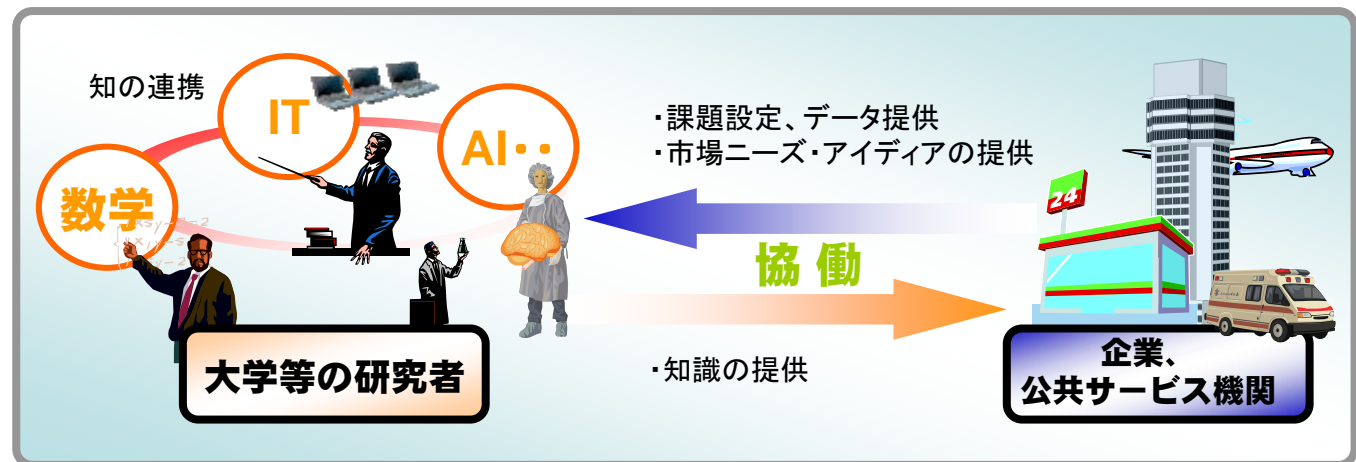
経済において大きな比重を占めるサービスの分野(例えば、医療・福祉、運輸・物流、金融等)を対象に、その高度化等を目的として、数学やIT等複数分野の知の連携とともに産学の協働による基礎的段階の研究を公募により実施する。




文部科学省

【研究総括】

- ・支援(知財関係、諸外国の状況等)
- ・サービスの体系化に向けた全体管理



## 施策の成果

サービスの創出又は高度化・最適化に向けて適用可能な方法論(技術)の確立に資する知識体系(知識及びメタ知識の集合体)のモデルを構築  **経済活性化・国際競争力の強化へ**